

### 今年度5回目のコミュニティ・スクール協議会を開催しました

7月27日、今年度5回目となる、コミュニティ・スクール協議会を開催しました。山口委員長が議長として議事を進行し、まず、前期学校評価として先日行った、保護者アンケートについての説明と結果の報告を学校側からいただきました。

そして、この結果を踏まえ、次年度の熟議へと移り、話し合いや意見交換を、先生と委員で4つのグループに分かれて行いました。

### 30年度 前期保護者アンケート結果から

- (1) 学校の教育活動にかかわる項目については、全11項目中8項目が「思う」「やや思う」と回答している割合が90%以上となっており、授業の進め方や内容、学校のルール、楽しく登校しているという部分については特に高い評価をしている。一方で、「やや思わない」「改善を要する」という割合が10%を超える項目については、授業や宿題で短い文章を書く活動、友達関係やいじめについての対応となっており、今後の課題として改善できるように取り組んでいかなければならない。
- (2) 子どもの家庭での様子にかかわる項目については、テレビ視聴やゲームの時間を守っているという内容が良くなっている事に対し、早寝早起き朝ごはん、子どものメールやラインの使用率、携帯やスマホの使用率については、良くない傾向が見えてきている。特に携帯やスマホの所持率は、今後増加傾向に向かうと考えられ、関係機関と連携をとり、出前講座などを通して、正しい使い方を指導するようにしていく。(今年は高学年で実施)
- (3) 家庭学習の時間についてのアンケートでは、学年×10分以上を目標としているが、学年が上がるほど目標の達成率が下がっており、勉強時間の確保が難しくなっているようである。家庭との連携を含めながら改善が必要。



グループ熟議は、和やかな雰囲気で行われ、最後にそれぞれのグループで話し合った事を発表しました。



### グループ熟議 ～アンケート結果から、テーマに沿って話し合い～

#### 文章力の向上と書く力について

- 日常で書く機会や会話が減っている。(メール、ラインなどの主流化が背景にある)
- 短い感想文など、授業でも自分の考えを文章に書かせる時間を増やしたい。
- 略語が多く聞かれるようになり、表現方法が簡素化されてきている。
- 書く力をつけるためには当然読む力も必要なので、読書の呼びかけも有効

#### 友達との関わりやいじめについて

- お互いの物事への認識の違いでトラブルになる事が多くなっていると感じる
- 表面的なものだけではなく、表面にあらわれない事に対しても気を配り、アンテナをはる必要がある。
- 現実の生活に沿った内容の道徳の授業などでこどもの心を育てていくべき

#### 地域と子どもの関わり方について

- ラジオ体操やお祭りなど、地域の行事に参加し、関わりを強めて欲しい。
- 地域にはさまざまな人材や会社、施設やお店があるので、授業や行事などでたくさん取り入れて欲しい。
- 見守りやあいさつ運動など、子どもが安心できる地域づくりを意識する。

#### 授業内容や宿題、家庭学習について

- 授業内容と宿題を連動したり、学年で内容を共通させてみてはどうか。
- 自分から進んで学習する力や、興味を持つ力が育つような授業が目標。
- 家庭学習については、家庭での協力が絶対に必要。懇談などで意見を聞いた、話し合ってみるのも良いと思う。

### PTA学校キャンプ おやじ会主体に、地域の方もお手伝いとして参加

7月28～29日にかけて行われた PTA 学校キャンプでは、おやじ会の運営のもと、参加者が200名を超え、大盛況のなか開催されました。午前中は昔遊びという事で、地域の方が遊びの先生としてお手伝い。そのあとは子ども達と一緒に焼肉を楽しみました。



**9月14(金)・15日(土)は、「コミスク授業」の一環として、5年生と6年生が、「鳥取神社祭」の神輿渡御に参加致します。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をはじめ、沿道でのあたたかいご声援、よろしくお願い致します。**